

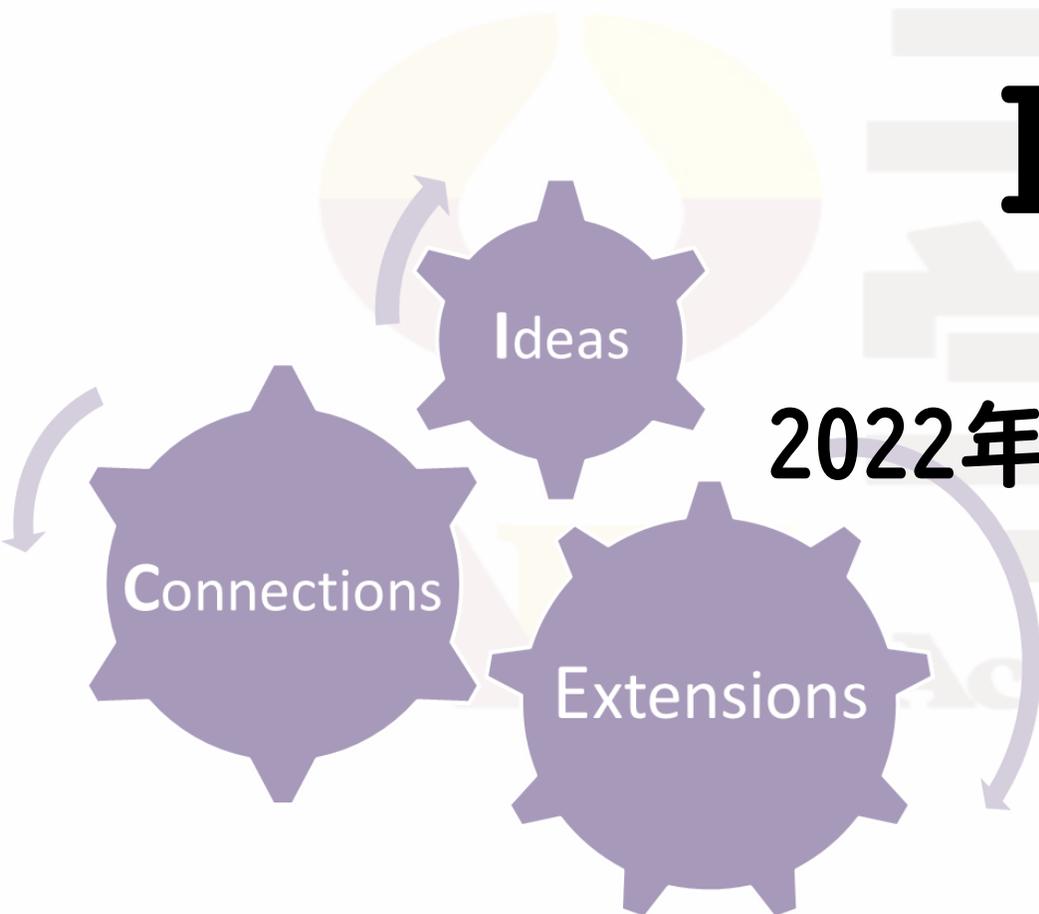
# ICEアプローチ研究会 第1回

(旧・ICEルーブリック研究会)

## 事例から学ぶ ICEアプローチ



2022年7月30日 (土) 13:30~17:00



主催



主体的学び研究所

mediasite

# ICEアプローチ研究会とは？



ICEの特徴を生かした学び方を見つけて、主体的に学ぶ方法を探りませんか

- ❑ 主にICEアプローチを使って「学習者が将来にわたって主体的な学びができるように促す」学び方/教え方の議論や研究を行います。
  - ❑ 主な活動は、事例を中心に講演、議論、ワークショップ等を行い、実践の知恵をシェアします。
  - ❑ 参加者全員が実践やフィードバックを繰り返し、学習者の主体的な学びにつなげることを目的とします。
- ❑ これまでの**実践を通して**ICEアプローチが、なぜ必要になったか、どのように取り入れたか、どのような変化があったかなどが含む**発表内容を元に、お互いに学びあいます。**
- ❑ **ICE活用の入口**
  - ❑ ICEはとてもシンプルでポータブルな学習理論です。学習者と指導者の共通ツールとしての活用が期待されています。発表を理解し、活用方法を検討するために、**基本的なICEアプローチの捉え方**をあらかじめ、つかんでおくことをお勧めします。  
(参考動画、参考書籍等は別途ご案内します。)

# アイス ICEアプローチとは？

- ✔ ICEアプローチとはSue F. Young博士（カナダ クイーンズ大学）が提唱する、学習とアセスメント評価が一体化した学習モデルです。
- ✔ ICEアプローチでは、「学び」を「基礎的な知識（I）、知識と知識をつなげる（C）、これまでは違う新しい形に発展させる（E）」と3つの領域で捉えて、創造的なところにまで高め、成長を促します。
- ✔ このI,C,Eの3つの領域は、学習者の学びがどの成長過程にあるのかを教えてください。学習者は、自ら、どのような学びのプロセスにあるかを確認できます。知識を発展させるにはどうすればよいか、教師とのアセスメントの機会ですさらに学びを深める機会を得られます。
- ✔ 教師側も、ICEを指導ツールとして活用します。また、学習者個人の学びの深さに合わせたフィードバックやファシリテーションも可能にします。
- ✔ ICEアプローチは普遍的で、ポータブルなため、学校段階や分野を問わず、企業や社会人にも、生涯を通じて活用できる学びのツールと捉えられています。多くの先生方、学習者、社会人にご活用いただきたいと考えています。事例を通して、学び方と指導方法を一緒に研究してみませんか。
  - ✔ 参考資料：土持ゲーリー法一監訳『「主体的な学び」につなげる評価と学習方法』東信堂

# 開催概要

- ✓ 日 程：2022年7月30日（土）13：30～17：00
- ✓ 形 式：オンライン（Zoom）
- ✓ 事例発表：教員養成課程～ICEを活用して模擬授業を構想するPBL～  
大場浩正先生（上越教育大学大学院 教授）
- ✓ コーディネーター：土持ゲーリー法一先生（京都情報大学院大学 副学長・教授）
- ✓ 参加対象者：教育関係者
- ✓ 参加費：無料
- ✓ 申込み締切：事前申込み制です。7/27(木)まで。  
次ページの申し込み方法をご覧ください。
- ✓ 開催後の交流会：出入り自由で18時まで。こちらは事前申込みは不要です。  
質問や確認などがありましたら、この時間をご活用ください。
- ✓ 参加にあたって：事前に基礎的なICEについての情報について、書籍や当研究所HPにて  
ご覧になっておいてください。  
(資料やHP、動画はお申し込み後にお知らせします。)

# お申込み方法

- ✔ 事前のお申し込みをお願いします（7/27(木)まで）
- ✔ 下記の項目を添えて <allinfo（アットを入れてください）activellj.jp> に、お申し込みください。1～2日程度で受領のメールを返信いたします。
  - ✔ ご所属、部署名、職位、お名前、連絡先（当日含む）電話番号、  
当日参加する際のemailアドレス（変更の際は前日までにご連絡ください）
- ✔ お問い合わせ：ご不明点等がございましたら、  
<allinfo（アットを入れてください）activellj.jp> までご連絡ください。

# プログラム

時間	項目		内容
13:30~13:35	ごあいさつ	全体	開始のご挨拶 会の流れ
13:35~14:00	アイスブレイキング	ブレイクアウトセッション	アイスブレイキング 兼 ブレイクアウトRoomの確認 ・自己紹介 ・事前課題*がある場合は、感想をシェア
14:00~14:03	発表者のご紹介	全体	発表者ご紹介 大場浩正先生(上越教育大学教授)
14:03~14:35	<b>発表(前半)</b>	全体	<b>実践報告</b> (シェア項目や事前課題*についての参加者への問いを含む)
14:35~14:45	質疑応答	全体	
14:45~15:00	休憩		
15:00~15:30	<b>発表(後半)</b>	全体	<b>前半の発表内容に即したワーク</b>
15:30~16:15	ディスカッション	ブレイクアウトセッション	グループでのディスカッション&シェア 1 先生からのワークに即した議論テーマ(ルーブリックをもとにお互いに意見交換、サジェスチョンなど) 2 シェア項目についての確認 3 これから参考にしたい箇所についての質問、コメント、サジェスチョン
16:15~16:45	全体シェア	全体	グループディスカッションの内容1~3のシェア 発表者からのコメント
16:45~16:55	ラップアップ	全体	顧問土持ゲーリー法一先生から
16:55~17:00	おわりに	全体	所長重田拓緒よりごあいさつ
17:15~18:00	交流会	希望者	希望者による交流会(出入り自由)